

### 1. 本授業科目の基本情報

科目名 (コード)	日本語コミュニケーションⅢ		( NKT22M )
講義名 (コード)	日本語コミュニケーションⅢ C		( NKT22MC )
対象学科	国際コミュニケーション学科 / グローバルビジネス学科	配当学年	2学年
対象コース	英語キャリアコース / グローバルビジネスコース / 観光ホスピタリティコース	単位数	2
授業担当者	小須田 代吉	時間数	30
成績評価教員	小須田 代吉	講義期間	春学期
実務者教員	いいえ	履修区分	選択
実務者教員特記欄		授業形態	講義

### 2. 本授業科目の概要

授業の目的 到達目標	通常のビジネス会話のみならず、相手の心情を理解し適切な言い回しをすることでコミュニケーション力を高めることができる。
全体の内容と概要	前半：読解問題を解くためのポイント、新出語彙を学び、実践問題を解く。 後半：聴解問題を解くためのスキルを学び、様々な形式の聴解問題を解き、解説を加える。
授業時間外の学修	読解問題の新出語彙の意味調べ・既習事項の復習
履修上の注意事項等	JLPT合格に向けて意欲的に授業に取り組むこと

### 3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件			
評価基準	知識 (期末試験点) 60%	自己管理能力 (出席点) 30%	協調性・主体性・表現力 (平常点) 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率×0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90~100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80~89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70~79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60~69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。	

#### 4. 本授業科目の授業計画

回	到達目標	授業内容
1	読：言い換えられている言葉を見つけ出せる 聴：実際の問題について傾向を知ることができる①	文章や、聴解問題の中で他の言葉で言い換えられている言葉や具体的に書かれている言葉について確認する/問題形式と内容について理解する(ポイント理解)
2	読：言い換え表現をつかった文章を読み解ける 聴：実際の問題について傾向を知ることができる②	言い換えをつかった実践問題を読み解く/ 言い換える表現について聞きとることができる(ポイント理解)
3	読：比喩の表現を理解できる 聴：実際の問題について傾向を知ることができる③	文章や聴解問題の中から比喩やたとえを見つける/多くの情報の中から必要な情報を拾う
4	読：比喩の表現をつかった文章を読み解み解ける 聴：言葉聞き分けて、話題をつかめる	比喩が使われている実践問題について読み解く/概要理解の問題について学ぶ
5	読：疑問指示について理解できる 聴：長い聴解から、必要な情報を聞き取れる	なぜ、どうして、どのようになどの疑問指示を文章の中から探し出す練習 概要理解の長い聴解について、内容を理解し、必要な情報を探す
6	読：疑問指示文の中からその答えとなるものを探し出せる 聴：話の構造をつかめる	文章から疑問指示の答えを探しだし、解答につなげる練習 キーワードを聞き取れるようになる練習
7	読：主張表現について理解できる 聴：文を関連づけて、話の主題をまとめる	よく使われる主張表現について学ぶ
8	読：指示語について理解できる 聴：2人以上の人の話を整理することができる	指示語を問う問題の演習/2つの文章の違いについて聞きとる練習
9	読：何をなど目的を理科できる 聴：2つの文章の違いについて聞きとる	誰かが、何が、何をしたかを文章から読み取る/2つの文章について類似点を見つけることができる
10	テストで8割正答できる	模擬試験(2023年JLPT試験7月2日にむけて)
11	テストで8割正答できる	模擬試験、FB
12	テストで8割正答できる	模擬試験、FB
13	まとめと解説	期末テスト前の復習
14	まとめと解説	期末試験
15	まとめと解説	期末試験FB

#### 5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等

教科書	完全マスター読解N2 完全マスター聴解N2
参考文献・資料等	
備考	